



6年 地域の方と国府の町の未来について話し合いました

11月8日(火) 鈴鹿市制施行80周年記念レガシー事業の取組で、6年生が、学校運営協議会・まちづくり協議会の方と一緒に国府の町の未来について考えました。まず初めに、元国府小学校長の杉谷先生から国府地区の歴史についてお話をいただきました。国府地区にはたくさん古墳があり、また「国府」の名前の由来でもある、国司が政務を執る伊勢の国府があったところでもあるということでした。鈴鹿市が誕生した昭和17年には戦争真っただ中で、今のHonda鈴鹿製作所、イオンモール鈴鹿の場所に海軍の工場があり、また戦後はHonda、カネボウ繊維鈴鹿工場、旭化成などの最先端の工場が立ち並んだということでした。いつの時代も最先端の場所であった国府の町の未来をグループに分かれ、地域の方にも入っていただき、どんな町であってほしいか、話し合いをしました。



話し合いでは、付箋に自分の考えや思いを書き、発表しながら付箋を大きな紙に貼っていきました。貼った付箋を、同じ内容のものをグループ分けし、いろいろな考えや思いがあることがわかりました。



足が不自由な人でも出歩けるように動く道をいろいろなところにとりつけるといいな。

昔のあるものを守りながら住みやすい町になっていったらいいな

大きな公園
遊ぶところが
いっぱいある
といいな

アイナシが日本有数の場所だから、そのすごさを日本全国に伝える。



田んぼが多いことを生かして、自然に優しい町、ごみの少ない町を目指したい。

史跡の中で争いがあった時のものが多いから、平和なものを増やしたい。

国府の町の人みんなが明るく、にぎやかな町
助け合いのできる優しい人がいっぱいいる町

未来の町を考えているとあっという間に時間が過ぎていきました。そんな中、こんな素敵な国府の町にするには、今、自分たちが何をすればいいのか、何をすべきなのか、少し考えてみました。

*あいさつや笑顔いっぱい町の町にする。自分たちからあいさつをしていく。

*国府の文化などを知ってもらう。自分たちが発信していく。

*公園など公共の施設を大切に使う。

*ポイ捨てをしない。

*しっかり勉強をする。(いろいろ考える学力をつけていくということだと思います！)

一人ではできない、だけど6年生のみんな、国府小学校のみんな、地域のみんな、考え行動すれば、国府の未来はきっと明るいものになることだと思います。子どもたちの書いた付箋を読み返すと、子どもたちが未来に向けて、がんばっていけるように、学校もがんばっていかねばと改めて思いました。保護者の皆様、地域の皆様、未来を担う子どもたちの育成に引き続きご協力よろしくお願ひします。



他の学年もレガシー事業に取り組んでいます。



1年生は「笑顔になる国府の町」で笑顔いっぱいの顔の絵を、3年生は「未来の国府の町」の絵を、4年生は国府の町の未来に向けてSDGsについて学びました。

レガシー事業の経費で、6年生の話し合いに使用した付箋・台紙、低学年の絵画に使用した画用紙のほか、児童用の印刷機を2台購入しました。